

「うつ病者の恥の記憶と思いやりの記憶に関するインタビュー調査」のご案内

これは、コンパッションを取り入れたうつの集団認知行動療法に参加予定のうつ病の方を対象に、幼少期あるいは青年期に体験した「恥を感じた記憶」、また「思いやりを感じた記憶」についてお聞きするインタビュー調査を行う研究です。本研究を行うことで、集団認知行動療法の治療効果の向上が期待されます。

参加基準：

- ①コンパッションを取り入れたうつの集団認知行動療法に参加される方
- ②20歳～60歳までの、うつ病の診断のある方 またはうつ症状のある方
- ③本試験の参加にあたり十分な説明を受けたあと、十分な理解の上、本人の自由意思による文書同意書が得られた方。

除外基準（下記に該当する方は本調査にご参加いただけません）：

- ①知的障害、発達障害、認知症、統合失調症の方
- ②自傷他害の恐れのある方

※自分が参加できるか分からないという方はお気軽にお問い合わせください。

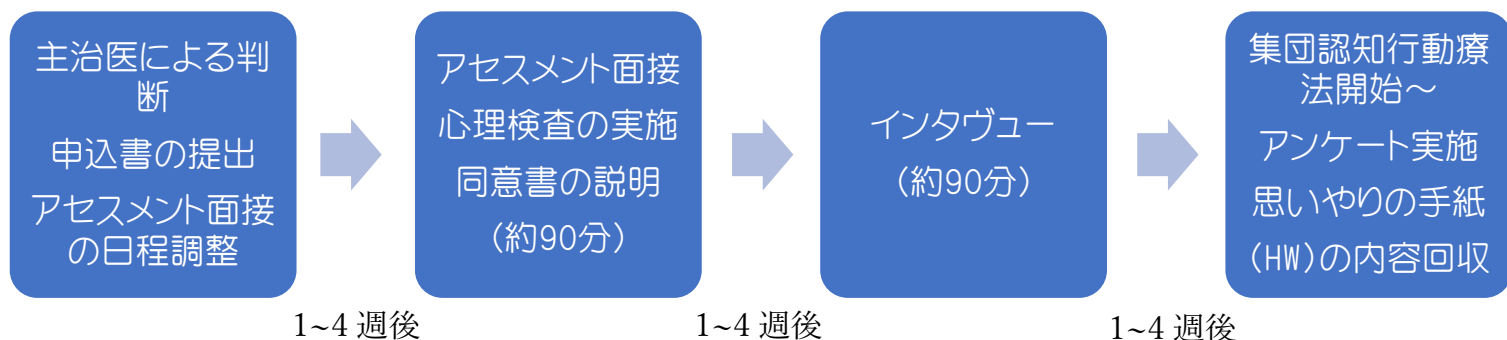
※下記アセスメント面接の結果、参加基準を満たさないと判断された場合、参加をお断りする場合がございます。

ご参加いただくメリット：

本インタビューは、続く集団認知行動療法において、患者のうつ病の恥の記憶と思いやりの記憶の理解を深めることにつながると考えられます。また、研究にご参加いただいた方には謝礼として、集団認知行動療法終了時、20000円分のクオカードをお渡しします。

お申し込みの流れ：

主治医の先生にご相談いただくかこまち臨床心理オフィスまでお申し込み下さい。



お問い合わせ：

研究責任者 平松洋一

こまち臨床心理オフィス横浜 千葉大学子どものこころの発達教育研究センター

電話 045-324-2311（月、水、日を除く9時～17時まで）